

令和6年度 社会福祉法人俊真会 ともっこ保育園 自己点検・自己評価

本園では、保育の質の向上を図るため、保育所保育指針の改定に基づき、保育計画の展開や、保育士・管理者の自己評価を行い、総合評価に基づき、本園の自己評価を行います。

※各保育士および管理職による自己評価を基に、総合的な結果を出し、評価の低かった点については改善策を話し合い、共通理解のもと改善に努めます。

保育士自己評価

・各項目ごとに評価の回答を記入する。

A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

※今回の評価結果を踏まえ、振り返りを行うことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り保育の質を向上させると共に、今後、さらに豊かな保育展開していくために活用していく。

保育職員 19名

1章 総則	A	B	C	D
1, 保育園は、入園している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任がある事を理解していますか。	●			
2, 保育理念・保育方針・目標に基づいて保育をおこなっていますか。		●		
3, 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行うと共に、保育士自らの人間性や専門性の向上に努め、豊かな感性と愛情をもって保育をしていますか。		●		
2章 子どもの発達	A	B	C	D
1, 乳幼児期は生涯にわたる「生きる力の基礎」が培われる時期であることを理解して保育していますか。	●			
2, 子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	●			
3, 子どもの発達や特性や「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。	●			
3章 保育の内容	A	B	C	D
1, 保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」と、さらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。		●		
2, 保育所保育は、「養護」と「教育」が一体化となって展開されることに留意していますか。	●			
3, 養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために、保育士が行う援助や関わりの事であり、教育は、子どもが健やかに成長し、その活動が豊かに展開されるための発達援助であることを理解していますか。	●			
(1)用語に関わるねらい・内容(生命の保持及び情緒の安定)	A	B	C	D
4, 朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人ひとりの平常の健康状態や発育及び、発達状態を的確に把握していますか。		●		
5, 子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境を心がけていますか。		●		
6, 子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	●			
7, 保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが、子どもの自信や肯定感を育むことを理解して保育していますか。	●			
8, 「早くしなさい！」など、せかす言葉を不必要に使わず、一人ひとりの発達家庭に合わせた柔軟な対応を心がけていますか。		●		
9, 「だめ！」「いけません！」などの制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。また、子どもの気持ちを受け止め、共感することの大切さを忘れない保育をしていますか。		●		

(2)教育に関するねらいと内容	A	B	C	D
10、散歩や公園・園庭遊びなど戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	●			
11、保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。		●		
12、食事の前や排泄後の手洗いの励行など、清潔の習慣が身に着くように援助していますか。	●			
13、子どもが見通しをもって、意欲的に行動できるようにすると共に、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	●			
14、危険に気付いて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃から話していますか。	●			
15、つまづきや葛藤、喧嘩などをこどもの育ち(発達)に欠かせないものとして捉え、適切な対応をしていますか。		●		
16、困っている友だちの事を心配するなど、思いやりの心を育てる保育をしていますか。	●			
17、保育士は、子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士のすべての言動が子どもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。		●		
18、順番や約束を守るなど、決まりを守ることの大切さを、園生活や遊びの中で、月例に応じたわかりやすい言葉や態度で丁寧に知らせていますか。	●			
19、子ども同士が力を合わせて、目標に向かって取り組む姿や、協力して遊びを展開していく姿を十分に認め、その喜びや達成感が味わえるような活動を取り入れた保育をしていますか。	●			
20、子ども同士が自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づけるように援助や助言を行っていますか。	●			
21、身近な自然現象に触れ、子どもたちの「どうして?」「なぜ?」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしていますか。		●		
22、身近な自然を通して、様々な発見や美しさや不思議さなどに気づくことが出来るような環境づくりをしていますか。		●		
23、毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの位置の違いや時間などについて、関心をもてるような環境構成に配慮していますか。	●			
24、信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿を観察しながら、共感や、代弁など、その場に適した言葉がけをしていますか。	●			
25、子どもが解らない事を尋ねたり、自分の楽しい経験を話すなど、安心して話せる雰囲気を作っていますか。		●		
26、子どもが、絵本や物語の内容を楽しんだり、共感したり自分の経験を結び付けたりと、想像を巡らせるような読み方を工夫していますか。		●		
27、あいさつや返事、「ごめんなさい」「ありがとう」などの生活に必要な言葉を自然に使えるような保育をしていますか。	●			
28、歌ったり踊ったり、体を動かしたりして音や動きの楽しさを味わい、心地よさを感じる機会を作っていますか。	●			
29、様々な音、色、形、手触り、匂い、味わいなど、五感を刺激する活動を保育に取り入れていますか。		●		
30、はさみなど、いろいろな道具の使い方を、月齢に応じて丁寧に教えたり、見守ったりしていますか。	●			
31、自由に描いたり、作ったりできるように、材料や用具を子どもたちが取り出ししたり片づけたりできる場所に置く工夫をしていますか。		●		

(3)乳児保育	A	B	C	D
1, 室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	●			
2, おむつ交換は、優しく声をかけながら行っていますか。	●			
3, 授乳は抱いて、目線を合わせたり、優しく声をかけながらゆったりとした気持ちで行っていますか。	●			
4, 一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか。		●		
5, しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく温かな応答的なかわりをしていますか。		●		
6, 一人ひとりの育ちやその日の様子など、職員間で連携を取り、職員全体で見守る体制ができていますか。		●		
7, 離乳食に関しては、発達段階、個人差などに対応し、家庭と連携を取りながら進めていますか。		●		
4章 保育計画及び評価	A	B	C	D
1, 保育園の全体的計画（保育理念・保育目標・保育指針など）を理解していますか。		●		
2, 指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。		●		
3, 指導計画は必ず保育園の全体計画に基づいて作成していますか。		●		
4, 年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した日案の指導計画を作成していますか。		●		
5, 行事は、保育上の意義を十分検討したうえで、月齢に合った内容が指導計画に組み込まれていますか。		●		
6, 保育計画が、実際の子どもの姿、心情、意欲、態度に合っているのか、自身の保育を振り返り、反省、評価をしていますか。		●		
7, あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。		●		
8, その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子供に関わる職員や申し送りなどで共有していますか。	●			
5章 健康及び安全	A	B	C	D
1, 子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に活かしていますか。	●			
2, 身長・体重などの定期的な計測および、健康診断の結果を保護者に伝えていますか。	●			
3, 子どもが活動しやすいように、その都度保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	●			
4, 子どもが危険な場所や遊びがわかり安全に遊びように指導していますか。	●			
5, 子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気づくりなど工夫していますか。	●			
6, 自然の恵みとしての食材や、調理する人への感謝の気持ちが育つよう、心がけていますか。	●			
7, 食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮をしていますか。 又、誤飲の予防対策として常にマニュアルに沿った対応をしていますか。	●			
8, あなたは保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるように心がけていますか。		●		
9, あなたの保育はに批判的な保護者に対しても、丁寧に要求や意見を受け止めようとしていますか。		●		
10, 園の食育計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか。		●		
6章 保護者支援	A	B	C	D
1, 送迎の際に、保護者と必ず挨拶や言葉を交わすようにしていますか。	●			
2, 保護者面談を行っていますか。(希望者のみ可)	●			
3, 家庭との信頼関係が築けるような、連絡ノートの書き方をしていますか。		●		
4, 保護者からの相談内容などを担任一人の問題にせず、園全体で受け止めようとしていますか。	●			

7章 職員の資質の向上	A	B	C	D
1, 職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか。		●		
2, 園の内外における、研修、研究活動及び自己研鑽により、専門性を高める努力をしていますか。		●		
3, 同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割を理解していますか。		●		
4, 職員同士や保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。		●		
5, あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲をもって保育していますか。	●			
8章 出納・経理について(会計取扱い者)	A	B	C	D
1, 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	●			

【その他コメント欄】

全職員が園児ひとりひとりを把握する会議を設けてチームで保育を行っています。

また、家庭との連携を密にし、保育の連続性を大切にしました。

職員が専門性を高められるよう、園内研修を工夫してきました。

今後もひとりひとりの個性を大切に保育してまいります。

また、安全計画を実施、振り返りを行って安心安全な保育を行います。